

平成23年度 科学研究費補助金（特別推進研究）  
追跡評価結果

研究課題名	21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究
研究代表者名 (所属・職)	池田 謙一（東京大学・大学院人文社会系研究科・教授）

### 評価意見

本研究は、21世紀初頭の日本の政治変動をとらえることをめざし、小泉政権下での全ての国政選挙で選挙前後二度の面接調査をベースとしたデータ取得を行ったものである。

日本の投票行動を全国時系列調査として継続して行うことは、内外の研究者にとって極めて重要であることはいうまでもない。

本研究の期間終了後も、この研究グループが持続的に研究発表を積極的に行っていること、また、研究分担者の平野氏が特別推進研究「変動期における投票行動の全国的・時系列的調査研究」を採択されていることも評価できることである。

学会における、いわば「公共財的」性格を持つ研究を持続的に行うための研究資金の確保や、「公共財」を広く利用に供するための公開時期の設定などには工夫が必要である。

また、特別推進研究の本来の目的である、国際的な研究成果の発表、あるいは海外研究者がこのデータを利用して行う研究発表については、分野により国際展開に差があるものの、必ずしも多い方ではないので、今後、このような発表が増えることを期待したい。